

くるみん認定企業インタビュー

Vol. 2 株式会社利水社



写真左から：
経営推進本部 三宅氏
(株式会社エオネックス)
取締役 瀧渕氏
(株式会社利水社)

秋葉 総務部長
田名網 雇用環境・均等室長
山口 雇用環境・均等室監理官
(石川労働局)

石川労働局職員がくるみん認定企業の株式会社利水社を訪問し、社員の育児休業等について、お話を伺いました。(訪問日：2024年10月22日)

※『くるみん認定』は次世代育成支援に取り組み、一定の要件を満たした事業主を、厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定する制度です。

訪問企業概要

株式会社利水社

※株式会社利水社は、株式会社エオネックスのグループ企業として労務管理を行われています。

所在地 金沢市東蚊爪町1-19-4
従業員数 64名
代表者 代表取締役社長 市山 勉
事業内容 測量業、建設コンサルタント業、補償コンサルタント業
公式HP <https://www.risuisha.co.jp/>

石川県内のくるみん認定企業や認定基準の詳細は
石川労働局ホームページをご覧ください

https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/news_topics/publicpaper/koyou_service_00001.html



企業インタビュー

子育てサポートに取り組むきっかけは？

エオネクスグループとして、前々から、経営者、社員、お客様など、会社を取り巻くすべての人から『良い会社』と思われるような会社を目指していました。『良い会社』であるために、「多様な働き方」を取り入れて、いろいろな人が働きやすい職場環境を目指したものの一つに、子育てサポートがあったということです。



くるみん認定を受けようと思った理由は？



働きやすい職場環境にするために、いろいろな活動をしているけれど、その活動の証がないと説得力がありません。そこで、くるみん認定企業に見合うような活動をしているのだから、その証として申請しよう、という話が社内でも出たことで、認定に向けて取り組みを進めました。

(↑) 利水社が認定取得した2022年当時のくるみんマーク

育児休業を取得しやすいように、工夫していることは？

2019年になりますが、男性社員に向けて育児応援宣言という形で、社内掲示板に「仕事と子育て両立パパを応援します」というメッセージを出して会社の姿勢を示しました。また、育休を取得した男性社員の事例紹介もしています。

実際に育休を取得した実績を知ることで、「男性も育児休業を取っていいんだ」という人が増えてきたので、社員の意識も変わってきたのではないかと思います。

仕事の面では、分業化による属人化解消の推進や、ITの活用、テレワーク勤務などにより、子どももの面倒を見ながらでも仕事ができる体制を進めることに力を入れて取り組んでいます。

育児休業の取得事例ご紹介

取得者 : 辻 勇気さん(空間情報部応用地グループ)
取得期間 : 子の出生直後から11か月間

～我が社、1人目の男性育児休業取得者～

- 育児休業を取得しようと思ったきっかけ
子供が一卵性双生児(双子)で生まれ、夫婦で子供の成長を共に過ごしたいと思いました。
- 配偶者の反応
双子を妊娠した時は、一人で育児をこなせるかとても不安だったので、夫も育児休業を取ってくれずごく心強かったです。
- 上司・同僚の反応
育児休業の取得について相談したときは、いつ復帰するかなど話し合いをして承認いただきました。同僚にも自分が育児休業を所得することで迷惑をかけてしまうのではないかと考えていましたが、双子育児の大変さを理解してもらえたので取得しやすかったと思います。

実際に事例紹介に使用された資料 (↑)

企業インタビュー

認定に取り組もうとしている企業へのメッセージ

弊社の場合は認定取得のために取り組むのではなく、前々から取り組んでいる証として取得する、というスタンスでした。これから認定に向けて取り組むにあたり、認定取得ありきではなく、認定基準を働きやすい職場づくりのための目安として取り組まれたらどうかと思います。そうしないと長く続かないと思います。

他には、就職活動中の方へのイメージアップにも繋がりますし、良いことがたくさんあると思うので、PRのツールの一つとしても、認定取得に取り組むことをお勧めします。

育児休業を取得した方へのインタビュー

株式会社利水社で働きながら、ご夫婦で同時期に育児休業を取得された辻ご夫妻に、「育児休業や仕事と家庭の両立」についてリモートでお話を伺いました。

辻 勇氣さん：測量業務に携わる技術職。11か月の休業を取得。

辻 早織さん：ハザードマップの作成等に携わる技術職。1年間の休業を取得。

男性の育児休業期間は短い傾向があるなか、1年近く休業した理由は？

勇氣さん：

初めての育児で、双子ということもあり、不安もあったのと、育児休業を取得するうえで、子どもと一緒に親も成長し、一緒に成長過程を過ごしたいな、という思いがありました。長い期間ではありましたが、皆さんに協力いただいて、取得することができました。



(↑) リモートインタビューの光景

休業前の準備で大変だったことは？

早織さん：

妊娠中には、突然お休みをいただくことも想定して、作業工程などは細かくメモを残して連絡するように、気を付けていました。産休予定日の1ヶ月前から休業に入ることになったのですが、上司や同僚がサポートしてくれて、納品間近の業務も無事に終わることができましたし、「気にせずゆっくり休んでね」と声をかけてもらい、職場の方たちの理解とありがたさを改めて実感しました。

育児休業を取得した方へのインタビュー

ご夫婦で育児休業を取得した感想は？

勇氣さん：

子どもの成長を見守ると同時に、子どもだけではなく、親子ともども成長できたということを感じました。とても大切な時間だったなと思います。

早織さん：

夫婦で一緒に育休を取得できて良かったと思っています。初めての妊娠で、ましてや双子なので、一人で育児できるのか、本当に不安でしたが、夫も一緒に育休を取れることになり、とても安心しました。特に産後は体力的にも精神的にも本当につらく、夫のサポートなしでは双子育児はこなせなかったと思っています。

子どもの成長を共に感じられたことももちろんですが、育児における大変なことも共有できたのは良かったと思っています。

男性の育児休業取得者を増やすには何が必要だと思いますか？

勇氣さん：

上司や同僚と、仕事の引継ぎなど事前に話し合っ、理解をしてもらうことが大切だと思います。また、子どもが生まれることを報告する際に、上司の方から「育児休業というものがあるよ」と推奨していただければ、本人たちも育休を取得しやすいと思います。

今後育児休業を取得しようとしている方へのメッセージ

勇氣さん：

子どもと一緒に過ごす日々は大切に、親自身の成長でもあると思うので、一日一日を大切に、育児休業を取得していただきたいと思います。

早織さん：

最初は慣れない育児に悩むこともあったり、仕事のこと、復帰後のことで不安に思うこともあるかと思いますが、日々の子どもの成長を見守れる貴重な期間だと思いますので、思いきり楽しんでほしいと思います。

編集後記

社員からも『良い会社』と思われる会社を目指し、長期にわたり、多様な働き方を取り入れるためのさまざまな取り組みをされていました。

また、PRのため潟渚様の名刺にはくるみんマークを入れてくださっていました。

今後、石川労働局としても「くるみん認定企業であること」がさらなるアピールポイントとなるよう、これまで以上に広報・周知活動に努めて参ります。

